



# けや中だより

第8号

令和5年10月31日(火)

三田市立けやき台中学校

## 「山粧う」秋のよき日に

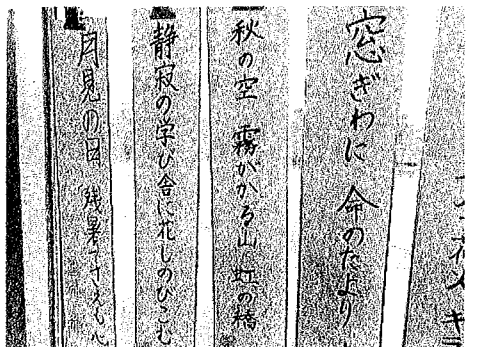
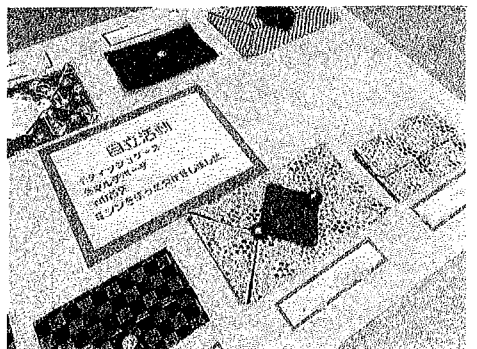
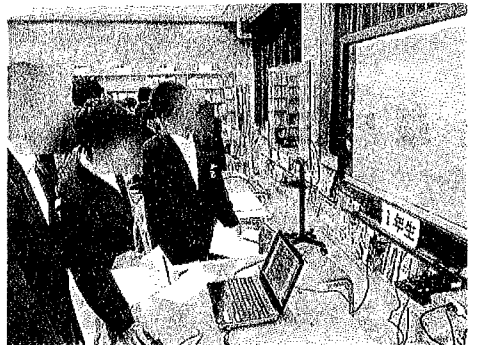
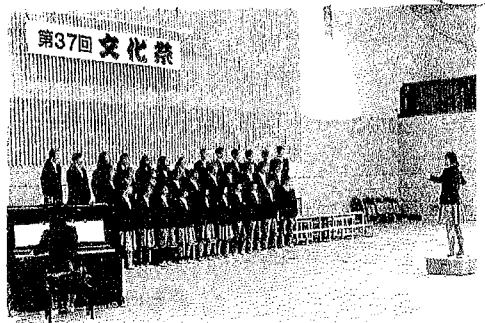
中国山水画家の郭熙は、赤や黄色に染まった木々が織りなす美しい山を「秋山明浄にして粧うが如く」と詠みました。秋山は、モミジ・ハナミズキ・ドウダンツツジやイチョウ・ブナなど、さまざまな植物が赤く黄色く染まりますが、それぞれの色味がすこしずつ異なり、グラデーションになって山を美しく見せます。まるで自然の色彩とは思えないほどの華やかさです。

そんな秋のよき日の文化祭。インフルエンザの影響で延期となり、十分な練習や準備ができず、当日一緒にできない仲間がいるくやしきもありましたが、スローガン「史上最響～みんなで金賞ゲットだぜ～」。今できることをやり、互いの個性や特技を響かせました。華やかに「粧う」山々の植物に勝るとも劣らぬ、歌声で、色や形で、文字や文章・映像で、リズムやハーモニーで学校全体を文化の色に染めあげました。

まずは生徒会によるオープニング。日本文化の薫り高い竹取物語をもとに、中学生らしい発想とユーモアを交えて文化祭の始まりを演出してくれました。個人的には、段ボールで作った甲冑が気になってたまりませんでした。

クラスの創意で決めた合唱曲は、歌詞を読み込んで1つ1つのことばに自分たちの思いを込め、その思いをメロディにのせて聴く人に届けました。始めは音取りもうまくいかず、順調に進まない中でパートリーダーの人など苦勞をしたこともあったでしょう。でも本番では「私たちの曲」として歌声を響かせました。美術部と科学技術部は、日々の活動を発信する場でした。テーマを決めて自分なりの構想を練る、それを自分の中であたため、考えたことを作品として表現していく。中学生の今だからこそ創りだせる作品は工夫と努力の賜物。吹奏楽部の演奏は、一人一人の努力が結集してできあがった合奏。長い時間をかけて身に着けてきた技術に、部員のみなさんの「良いものを創りあげる」という心の強さを感じました。同時に、楽しそうに演じる部員のみなさんと聴衆。まさに「音」を「楽」しむひと時でした。各教科の発表は、日々の学びの中で創りだした文化の結晶。地域と一緒に取り組んでいる“服のチカラ”プロジェクトも発信力がありました。

それぞれのクラスや部活などにおいて、テーマや作品を決め、1つの目標に向かって努力をしました。努力の中で、苦勞や困難が大きければ大きいほど達成した時の喜びや感動はそれだけ大きなものになります。文化祭には、1つ1つの課題をみんなの知恵と汗、友情と団結で乗り越えるという経験があったのです。これは、通常の授業ではなかなか学ぶことのできない貴重な学び。この経験がみなさんを一層成長させることになるのです。



少しずつ異なるそれぞれの個性が、互いの色味を引き立たせながら響き合って「けや中文化」を醸し出した1日となったことに喜びを感じます。

## 最近、「リスキリング」ってよく聞きます

リスキリングとは、経済産業省によると「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること」です。少し雑かもしれませんが、ここでは仕事をしていく上で必要な「学び直し」と解釈しましょう。新聞記事から、勇気をもたらえる話を紹介します。

ラグビーワールドカップフランス大会に出場した日本代表チームのキャプテン<sup>ひめのかずき</sup>姫野和樹選手(29)は、英語がとても苦手でした。「b」と「d」を間違えてしまうこともあったとか。

その姫野選手は大学卒業後、ラグビートップリーグのトヨタに加入、監督からいきなりキャプテンを任せられます。しかし困った。チームには多くの外国人選手がいて、コミュニケーションをとるには英語が欠かせません。困った姫野選手は、高校時代の英語の先生を頼って「いちから英語を教えてください」と、基礎からの徹底した学び直しをすることになります。

中学生用の教材を使って、be動詞から。ほんの少しでも毎日英語で日記をつけ、スピーキングもやるようにします。スポーツ選手のインタビュー動画を見て学び、簡単な単語を使って気持ちを表現できるようになります。そうしているうちに、ニュージーランドのチームでプレーすることになり英語漬けの生活。一気に成長できたそうです。今では、トヨタでもキャプテンとしてチームを引っ張り、外国人選手を食事に誘うのが当たり前になったそうです。英語のレベルをさらに高めようと、レッスンにも通っているそうです。

さあみなさん、姫野選手の生き方を知って、どうでしょう？

その気になれば、いつだって学ぶことができる。基礎からやり直して続ければ、力が身につく。一步を踏み出すことにためらっている私は、勇気をもたらえたような気がします。



### 11月の予定

KS：子どものサポーター、SC：スクールカウンセラー  
SSW：スクールソーシャルワーカー

日	曜	学校行事【下校：17時】	関連行事	給食	教育相談
1	水	3年実力テスト 専門委員会	PTA本部役員会	123	SC
2	木	NO部 保護者進路説明会	定時退勤日	123	KS SSW
3	金	文化の日			
4	土		三田市英語暗唱大会		
5	日				
6	月	生徒集会		123	
7	火	三田市音楽会		123	KS
8	水		PTA運営委員会	123	SC
9	木	NO部	定時退勤日	123	KS SSW
10	金	2年校外学習(京都)		13	
11	土				
12	日				
13	月	NO部 教育相談 テスト1週間前		123	
14	火	教育相談		123	KS
15	水	教育相談 道徳研究授業		123	SC
16	木	教育相談	定時退勤日	123	KS SSW
17	金	教育相談		123	
18	土	県駅伝大会(神鍋)	三田市児童生徒作品展		
19	日		↓		
20	月	期末テスト			
21	火	期末テスト			
22	水	期末テスト NO部		123	
23	木	勤労感謝の日			
24	金	人権講演会(5.6H)		123	
25	土	県新人剣道大会(県立武道館)			
26	日	県新人剣道大会			
27	月			123	
28	火			123	KS
29	水	専門委員会		123	SC
30	木	NO部	定時退勤日 青少協	123	KS SSW

<12月の主な予定>  
1：学校運営協議会 8：生徒会選挙 10：サッカー県新人大会会場  
14：3年個人懇談、15、18～21：個人懇談 25：終業式